

平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 岡山県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター	2
岡山市	総合病院岡山市立市民病院（ 想定企業会計）	3
岡山市	岡山市立せのお病院（想定企 業会計）	4
岡山市	国立病院機構岡山市立金川病 院	5
倉敷市	倉敷市立市民病院	6
玉野市	玉野市民病院	7
笠岡市	笠岡市民病院	8
井原市	井原市民病院	9
高梁市	国保成羽病院	10
備前市	備前病院	11
備前市	日生病院	12
備前市	吉永病院	13
瀬戸内市	瀬戸内市立瀬戸内市民病院	14
真庭市	真庭市国民健康保険湯原温泉 病院	15
美作市	美作市立大原病院	16
矢掛町	国保病院	17
鏡野町	国保病院	18
岡山市久米南町国民健康 保険病院組合	国保福渡病院	19

病院事業決算状況 (30 年度)		都道府県名	岡山県
		市町村・組合名	
		病院名	地方独立行政法人 岡山県 精神科医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）		1,921,525
決算規模（千円）		679,466,344
標準財政規模（千円）		414,574,139
財政力指数		0.52817
経常収支比率（%）		96.8
健全化 判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.2
	将来負担比率（%）	200.3

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	45,503			
1 経常収益	45,503			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	45,503			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	45,503			
2 経常費用	45,503			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	96.0
材料費	-	-	24.1	8.6
(うち薬品費)	-	-	12.6	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	1.0
減価償却費	-	-	9.2	12.5
経費	-	-	23.2	34.0
(うち委託料)	-	-	11.3	16.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	45,503			
(うち支払利息)	45,503	-	1.6	3.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	100.0
医業収支比率	-		88.3	65.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	34.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	33.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	66.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	岡山県
		市町村・組合名	岡山市
		病院名	総合病院岡山市立市民病院 (想定企業会計)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		719,474
決算規模(千円)		316,968,662
標準財政規模(千円)		195,312,723
財政力指数		0.80
経常収支比率(%)		89.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	9.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	48,661			
1 経常収益	48,661			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	48,661			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	48,661			
2 経常費用	48,661			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	54.1
材料費	-	-	24.1	26.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	19.0
(うち委託料)	-	-	11.3	9.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	48,661			
(うち支払利息)	48,661		1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	99.3
医業収支比率	-		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	89.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	71598.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	岡山県
	市町村・組合名	岡山市
	病院名	岡山市立せのお病院(想定企業会計)

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	719,474	
決算規模(千円)	316,968,662	
標準財政規模(千円)	195,312,723	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	9.3

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	28,238			
1 経常収益	28,238			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	28,238			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	28,238			
2 経常費用	28,238			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	71.8
材料費	-	-	24.1	16.5
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.6
減価償却費	-	-	9.2	12.2
経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	28,238			
(うち支払利息)	28,238	-	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	97.1
医業収支比率	-		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	74.9

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	71598.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	岡山県
				市町村・組合名	岡山市
				病院名	国立病院機構岡山市立金川病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,592 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	5	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	30	83.9	83.7	87.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	83.9	83.7	87.0
平均在院日数(一般病床のみ)		36.3	35.7	34.3

設立団体の状況		
人口(人)	719,474	
決算規模(千円)	316,968,662	
標準財政規模(千円)	195,312,723	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	9.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	31,756			
1 経常収益	31,756			
(1) 医業収益	324			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	324			
(うち他会計負担金)	324			
(2) 医業外収益	31,432			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	10,538			
(うち長期前受金戻入)	20,894			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	49,549			
2 経常費用	49,549			
(1) 医業費用	35,176			
職員給与費	-	-	56.0	81.3
材料費	-	-	24.1	14.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.1
減価償却費	34,873	10763.3	9.2	13.4
経費	303	93.5	23.2	47.5
(うち委託料)	-	-	11.3	20.0
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	14,373			
(うち支払利息)	10,538	3252.5	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-17,793			
純損益	-17,793			
累積欠損金	231,979			
経常収支比率	64.1		98.2	96.3
医業収支比率	0.9		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	34.2		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	3352.5		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	34.2		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	42.2		86.0	64.8

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	774,301
1 固定資産	774,001
(1) 有形固定資産	763,537
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	10,464
2 流動資産	300
(1) 現金及び預金	300
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	586,366
1 固定負債	564,753
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	564,753
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	21,561
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,261
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	52
(1) 長期前受金	47,718
(2) 長期前受金収益化累計額()	47,666
資本合計	187,935
1 資本金	419,892
2 剰余金	-231,957
(1) 資本剰余金	22
(2) 利益剰余金	-231,979
負債・資本合計	774,301
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	5,269	10,862
資本勘定繰入	10,447	20,894
計	15,716	31,756

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	71598.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)	都道府県名	岡山県
	市町村・組合名	倉敷市
	病院名	倉敷市立市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	198	66.5	67.5	65.2
療養	-	-	74.7	88.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	198	66.5	68.7	69.1
平均在院日数（一般病床のみ）		16.6	14.9	15.3

設立団体の状況		
人口（人）	477,118	
決算規模（千円）	202,773,016	
標準財政規模（千円）	107,810,088	
財政力指数	0.87	
経常収支比率（%）	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.3
	将来負担比率（%）	47.9

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	14,117 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	22	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上～200床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	80.0
修正医業収支金額（千円）	2,735,582

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,084,151			
1 経常収益	3,084,019			
(1) 医業収益	2,801,224			
入院収益	1,704,259			
外来収益	824,252			
診療収入計	2,528,511			
その他医業収益	272,713			
(うち他会計負担金)	65,642			
(2) 医業外収益	282,795			
(うち国・都道府県補助金)	1,949			
(うち他会計補助・負担金)	135,892			
(うち長期前受金戻入)	118,092			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	132			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,558,918			
2 経常費用	3,555,783			
(1) 医業費用	3,419,309			
職員給与費	1,866,549	66.6	56.0	61.8
材料費	372,253	13.3	24.1	17.7
(うち薬品費)	182,044	6.5	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	188,977	6.7	11.1	8.2
減価償却費	454,680	16.2	9.2	10.4
経費	712,108	25.4	23.2	29.9
(うち委託料)	324,601	11.6	11.3	12.9
研究研修費	5,102			
資産減耗費	8,617			
(2) 医業外費用	136,474			
(うち支払利息)	35,166	1.3	1.6	1.7
(3) 特別損失	3,135			
損益				
経常損益	-471,764			
純損益	-474,767			
累積欠損金	3,648,750			
経常収支比率	86.7		98.2	96.7
医業収支比率	81.9		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	6.5		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	7.2		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	6.5		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	81.1		86.0	80.7

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	9,333,189
1 固定資産	8,662,086
(1) 有形固定資産	8,653,886
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	8,200
2 流動資産	671,103
(1) 現金及び預金	436,755
(2) 未収金及び未収収益	227,711
(3) 貸倒引当金（ ）	3,550
(4) 貯蔵品	10,187
3 繰延資産	-
負債合計	10,283,417
1 固定負債	7,933,121
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,465,632
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	605,520
(5) その他の長期借入金	45,000
(6) 引当金	816,969
(7) リース債務	-
2 流動負債	604,629
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	258,902
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	45,000
(5) 引当金	131,172
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	152,739
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,745,667
(1) 長期前受金	2,202,927
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	457,260
資本合計	-950,228
1 資本金	2,527,759
2 剰余金	-3,477,987
(1) 資本金剰余金	170,763
(2) 利益剰余金	-3,648,750
負債・資本合計	9,333,189
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	950,228
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	201,396	201,534
資本勘定繰入	147,503	228,707
計	348,899	430,241

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	130.3
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	岡山県
	市町村・組合名	玉野市
	病院名	玉野市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,895 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	13	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	199	60.7	59.1	47.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	60.7	59.1	47.7
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	17.0	16.6

設立団体の状況		
人口(人)	60,736	
決算規模(千円)	22,727,645	
標準財政規模(千円)	14,797,419	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.0
修正医業収支金額(千円)	1,953,404

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,365,944			
1 経常収益	2,364,409			
(1) 医業収益	2,016,924			
入院収益	1,323,816			
外来収益	512,700			
診療収入計	1,836,516			
その他医業収益	180,408			
(うち他会計負担金)	63,520			
(2) 医業外収益	347,485			
(うち国・都道府県補助金)	133			
(うち他会計補助・負担金)	311,796			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,535			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,437,861			
2 経常費用	2,298,588			
(1) 医業費用	2,219,755			
職員給与費	1,447,242	71.8	56.0	61.8
材料費	228,414	11.3	24.1	17.7
(うち薬品費)	136,132	6.7	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	92,282	4.6	11.1	8.2
減価償却費	76,593	3.8	9.2	10.4
経費	459,746	22.8	23.2	29.9
(うち委託料)	204,627	10.1	11.3	12.9
研究研修費	7,230			
資産減耗費	530			
(2) 医業外費用	78,833			
(うち支払利息)	3,174	0.2	1.6	1.7
(3) 特別損失	139,273			
損益				
経常損益	65,821			
純損益	-71,917			
累積欠損金	4,369,942			
経常収支比率	102.9		98.2	96.7
医業収支比率	90.9		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	18.6		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	15.9		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	86.5		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,512,808
1 固定資産	756,870
(1) 有形固定資産	744,877
(2) 無形固定資産	7,179
(3) 投資その他の資産	4,814
2 流動資産	755,938
(1) 現金及び預金	404,728
(2) 未収金及び未収収益	345,584
(3) 貸倒引当金()	5,689
(4) 貯蔵品	11,315
3 繰延資産	-
負債合計	1,271,424
1 固定負債	861,461
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	117,079
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	535,262
(7) リース債務	9,120
2 流動負債	409,248
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,948
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	100,000
(5) 引当金	82,946
(6) リース債務	13,156
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	176,654
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	715
(1) 長期前受金	14,287
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,572
資本合計	241,384
1 資本金	4,596,226
2 剰余金	-4,354,842
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-4,354,842
負債・資本合計	1,512,808
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	295,316	375,316
資本勘定繰入	17,917	153,982
計	313,233	529,298

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	216.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	岡山県
	市町村・組合名	笠岡市
	病院名	笠岡市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	160	43.5	47.8	43.1
療養	34	76.9	76.0	54.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	194	49.4	52.8	45.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	21.7	20.9

設立団体の状況		
人口(人)	50,568	
決算規模(千円)	25,713,959	
標準財政規模(千円)	13,078,888	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.7
	将来負担比率(%)	75.5

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	11,571 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	13	看護配置	10:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.8
修正医業収支金額(千円)	1,412,391

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,802,871			
1 経常収益	1,801,972			
(1) 医業収益	1,458,635			
入院収益	951,456			
外来収益	374,269			
診療収入計	1,325,725			
その他医業収益	132,910			
(うち他会計負担金)	46,244			
(2) 医業外収益	343,337			
(うち国・都道府県補助金)	95			
(うち他会計補助・負担金)	315,986			
(うち長期前受金戻入)	4,754			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	899			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,028,813			
2 経常費用	2,019,318			
(1) 医業費用	1,940,854			
職員給与費	1,069,873	73.3	56.0	61.8
材料費	176,558	12.1	24.1	17.7
(うち薬品費)	44,837	3.1	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	107,699	7.4	11.1	8.2
減価償却費	148,032	10.1	9.2	10.4
経費	542,461	37.2	23.2	29.9
(うち委託料)	294,519	20.2	11.3	12.9
研究研修費	3,491			
資産減耗費	439			
(2) 医業外費用	78,464			
(うち支払利息)	4,425	0.3	1.6	1.7
(3) 特別損失	9,495			
損益				
経常損益	-217,346			
純損益	-225,942			
累積欠損金	3,785,042			
経常収支比率	89.2		98.2	96.7
医業収支比率	75.2		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	20.1		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	24.8		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	20.1		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	71.3		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,367,336
1 固定資産	1,068,993
(1) 有形固定資産	1,056,458
(2) 無形固定資産	5,335
(3) 投資その他の資産	7,200
2 流動資産	298,343
(1) 現金及び預金	49,491
(2) 未収金及び未収収益	245,248
(3) 貸倒引当金()	2,352
(4) 貯蔵品	5,956
3 繰延資産	-
負債合計	1,324,450
1 固定負債	701,597
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	275,889
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	160,000
(6) 引当金	265,708
(7) リース債務	-
2 流動負債	579,746
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,958
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	40,000
(5) 引当金	69,070
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	165,080
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	43,107
(1) 長期前受金	118,311
(2) 長期前受金収益化累計額()	75,204
資本合計	42,886
1 資本金	3,743,707
2 剰余金	-3,700,821
(1) 資本剰余金	84,221
(2) 利益剰余金	-3,785,042
負債・資本合計	1,367,336
不良債務	178,445
実質資金不足額	178,445
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	274,710	362,230
資本勘定繰入	78,254	80,660
計	352,964	442,890

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	178,445	12.2
29年度	239,756	15.5
28年度	77,778	5.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	259.5
健全化法上の資金不足額(千円)	178,445
健全化法上の資金不足比率(%)	12.2
地財法上の資金不足額(千円)	178,445
地財法上の資金不足比率(%)	12.2

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)	都道府県名	岡山県
	市町村・組合名	井原市
	病院名	井原市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	120	74.4	72.0	67.3
療養	60	63.1	60.1	54.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	70.6	68.0	63.1
平均在院日数（一般病床のみ）		16.4	15.5	14.2

設立団体の状況		
人口（人）	41,390	
決算規模（千円）	20,804,074	
標準財政規模（千円）	12,607,480	
財政力指数	0.42	
経常収支比率（%）	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.4
	将来負担比率（%）	-

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,444 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	16	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	82.5
修正医業収支金額（千円）	2,205,612

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,756,471			
1 経常収益	2,756,471			
(1) 医業収益	2,245,300			
入院収益	1,463,141			
外来収益	596,368			
診療収入計	2,059,509			
その他医業収益	185,791			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	511,171			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	371,814			
(うち長期前受金戻入)	118,878			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,794,751			
2 経常費用	2,794,728			
(1) 医業費用	2,674,670			
職員給与費	1,749,851	77.9	56.0	61.8
材料費	270,384	12.0	24.1	17.7
(うち薬品費)	110,779	4.9	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	124,823	5.6	11.1	8.2
減価償却費	271,951	12.1	9.2	10.4
経費	370,804	16.5	23.2	29.9
(うち委託料)	166,931	7.4	11.3	12.9
研究研修費	10,123			
資産減耗費	1,557			
(2) 医業外費用	120,058			
(うち支払利息)	42,812	1.9	1.6	1.7
(3) 特別損失	23			
損益				
経常損益	-38,257			
純損益	-38,280			
累積欠損金	530,639			
経常収支比率	98.6		98.2	96.7
医業収支比率	83.9		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	14.9		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	18.3		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	14.9		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	83.9		86.0	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	4,616,541
1 固定資産	3,036,462
(1) 有形固定資産	2,676,299
(2) 無形固定資産	352
(3) 投資その他の資産	359,811
2 流動資産	1,580,079
(1) 現金及び預金	856,284
(2) 未収金及び未収収益	684,185
(3) 貸倒引当金（ ）	108
(4) 貯蔵品	38,472
3 繰延資産	-
負債合計	4,214,990
1 固定負債	2,995,870
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,876,470
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	119,400
(7) リース債務	-
2 流動負債	523,390
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	278,018
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	113,212
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	127,393
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	695,730
(1) 長期前受金	1,847,901
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,152,171
資本合計	401,551
1 資本金	812,350
2 剰余金	-410,799
(1) 資本金剰余金	7,738
(2) 利益剰余金	-418,537
負債・資本合計	4,616,541
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	411,502	411,502
資本勘定繰入	169,685	169,685
計	581,187	581,187

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	23.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	岡山県
	市町村・組合名	高梁市
	病院名	国保成羽病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	54	85.2	85.1	84.9
療養	42	40.8	41.6	28.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	96	65.8	66.1	60.2
平均在院日数(一般病床のみ)		21.9	22.8	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	32,075	
決算規模(千円)	27,212,672	
標準財政規模(千円)	13,655,007	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.3
	将来負担比率(%)	94.3

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,307 m ²	指定病院の状況	救臨 へ 輪
診療科数	10	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.6
修正医業収支金額(千円)	1,115,816

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,478,788			
1 経常収益	1,478,788			
(1) 医業収益	1,149,827			
入院収益	586,436			
外来収益	457,209			
診療収入計	1,043,645			
その他医業収益	106,182			
(うち他会計負担金)	34,011			
(2) 医業外収益	328,961			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	199,007			
(うち長期前受金戻入)	53,331			
(うち資本費繰入収益)	33,430			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,566,166			
2 経常費用	1,556,924			
(1) 医業費用	1,455,993			
職員給与費	798,148	69.4	56.0	71.8
材料費	176,920	15.4	24.1	16.5
(うち薬品費)	106,490	9.3	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	53,028	4.6	11.1	5.6
減価償却費	189,338	16.5	9.2	12.2
経費	288,409	25.1	23.2	31.2
(うち委託料)	138,595	12.1	11.3	12.3
研究研修費	1,180			
資産減耗費	1,998			
(2) 医業外費用	100,931			
(うち支払利息)	7,706	0.7	1.6	1.9
(3) 特別損失	9,242			
損益				
経常損益	-78,136			
純損益	-87,378			
累積欠損金	833,774			
経常収支比率	95.0		98.2	97.1
医業収支比率	79.0		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	15.8		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	20.3		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	15.8		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	80.0		86.0	74.9

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,654,841
1 固定資産	2,153,382
(1) 有形固定資産	2,078,350
(2) 無形固定資産	12,916
(3) 投資その他の資産	62,116
2 流動資産	1,501,459
(1) 現金及び預金	1,072,122
(2) 未収金及び未収収益	420,962
(3) 貸倒引当金()	67
(4) 貯蔵品	8,442
3 繰延資産	-
負債合計	1,437,404
1 固定負債	724,949
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	688,467
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	36,482
(7) リース債務	-
2 流動負債	159,095
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	47,858
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	53,220
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	55,995
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	553,360
(1) 長期前受金	915,995
(2) 長期前受金収益化累計額()	362,635
資本合計	2,217,437
1 資本金	3,029,230
2 剰余金	-811,793
(1) 資本金剰余金	21,981
(2) 利益剰余金	-833,774
負債・資本合計	3,654,841
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	279,113	233,018
資本勘定繰入	33,430	33,430
計	312,543	266,448

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	72.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	岡山県
				市町村・組合名	備前市
				病院名	備前病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,566 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	15	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	46	73.4	71.9	73.3
療養	44	59.4	66.8	66.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	66.6	69.4	70.2
平均在院日数（一般病床のみ）		19.4	17.4	15.4

設立団体の状況		
人口（人）	35,179	
決算規模（千円）	19,975,517	
標準財政規模（千円）	11,967,422	
財政力指数	0.44	
経常収支比率（%）	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.6
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	86.3
修正医業収支金額（千円）	1,138,564

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,741,141			
1 経常収益	1,740,991			
(1) 医業収益	1,150,206			
入院収益	618,984			
外来収益	453,118			
診療収入計	1,072,102			
その他医業収益	78,104			
(うち他会計負担金)	11,642			
(2) 医業外収益	590,785			
(うち国・都道府県補助金)	989			
(うち他会計補助・負担金)	134,090			
(うち長期前受金戻入)	55,331			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	150			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,804,507			
2 経常費用	1,802,707			
(1) 医業費用	1,319,856			
職員給与費	663,125	57.7	56.0	71.8
材料費	150,802	13.1	24.1	16.5
(うち薬品費)	77,140	6.7	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	58,834	5.1	11.1	5.6
減価償却費	98,177	8.5	9.2	12.2
経費	400,358	34.8	23.2	31.2
(うち委託料)	114,626	10.0	11.3	12.3
研究研修費	1,531			
資産減耗費	5,863			
(2) 医業外費用	482,851			
(うち支払利息)	39,134	3.4	1.6	1.9
(3) 特別損失	1,800			
損益				
経常損益	-61,716			
純損益	-63,366			
累積欠損金	1,629,815			
経常収支比率	96.6		98.2	97.1
医業収支比率	87.1		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	12.7		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	8.4		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	88.5		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	9,238,058
1 固定資産	7,362,987
(1) 有形固定資産	5,638,023
(2) 無形固定資産	70
(3) 投資その他の資産	1,724,894
2 流動資産	1,875,071
(1) 現金及び預金	1,146,488
(2) 未収金及び未収収益	666,930
(3) 貸倒引当金（ ）	9,929
(4) 貯蔵品	71,227
3 繰延資産	-
負債合計	5,014,333
1 固定負債	3,424,818
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,325,074
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	99,744
(7) リース債務	-
2 流動負債	566,501
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	201,144
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	125,761
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	238,596
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,023,014
(1) 長期前受金	1,871,799
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	848,785
資本合計	4,223,725
1 資本金	5,606,664
2 剰余金	-1,382,939
(1) 資本金剰余金	84,905
(2) 利益剰余金	-1,467,844
負債・資本合計	9,238,058
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	136,598	145,732
資本勘定繰入	36,796	66,941
計	173,394	212,673

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	37.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	岡山県
				市町村・組合名	備前市
				病院名	日生病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,545 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	11	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	40	62.8	60.7	69.7
療養	52	67.9	52.5	60.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	92	65.7	56.1	64.7
平均在院日数（一般病床のみ）		18.6	18.3	19.2

設立団体の状況		
人口（人）	35,179	
決算規模（千円）	19,975,517	
標準財政規模（千円）	11,967,422	
財政力指数	0.44	
経常収支比率（%）	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.6
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	94.2
修正医業収支金額（千円）	1,068,410

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,243,523			
1 経常収益	1,243,523			
(1) 医業収益	1,088,343			
入院収益	569,849			
外来収益	454,524			
診療収入計	1,024,373			
その他医業収益	63,970			
(うち他会計負担金)	19,933			
(2) 医業外収益	155,180			
(うち国・都道府県補助金)	295			
(うち他会計補助・負担金)	114,409			
(うち長期前受金戻入)	32,967			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,191,212			
2 経常費用	1,191,212			
(1) 医業費用	1,134,406			
職員給与費	430,827	39.6	56.0	71.8
材料費	311,484	28.6	24.1	16.5
(うち薬品費)	236,398	21.7	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	64,735	5.9	11.1	5.6
減価償却費	68,376	6.3	9.2	12.2
経費	321,478	29.5	23.2	31.2
(うち委託料)	60,341	5.5	11.3	12.3
研究研修費	704			
資産減耗費	1,537			
(2) 医業外費用	56,806			
(うち支払利息)	15,910	1.5	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	52,311			
純損益	52,311			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.4		98.2	97.1
医業収支比率	95.9		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	10.8		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	12.3		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	10.8		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	93.1		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	9,238,058
1 固定資産	7,362,987
(1) 有形固定資産	5,638,023
(2) 無形固定資産	70
(3) 投資その他の資産	1,724,894
2 流動資産	1,875,071
(1) 現金及び預金	1,146,488
(2) 未収金及び未収収益	666,930
(3) 貸倒引当金（ ）	9,929
(4) 貯蔵品	71,227
3 繰延資産	-
負債合計	5,014,333
1 固定負債	3,424,818
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,325,074
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	99,744
(7) リース債務	-
2 流動負債	566,501
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	201,144
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	125,761
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	238,596
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,023,014
(1) 長期前受金	1,871,799
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	848,785
資本合計	4,223,725
1 資本金	5,606,664
2 剰余金	-1,382,939
(1) 資本金剰余金	84,905
(2) 利益剰余金	-1,467,844
負債・資本合計	9,238,058
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	134,342	134,342
資本勘定繰入	37,373	37,373
計	171,715	171,715

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	37.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	岡山県
				市町村・組合名	備前市
				病院名	吉永病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,550 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	19	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	50	89.8	91.4	90.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	89.8	91.4	90.4
平均在院日数（一般病床のみ）		18.8	20.4	17.5

設立団体の状況		
人口（人）	35,179	
決算規模（千円）	19,975,517	
標準財政規模（千円）	11,967,422	
財政力指数	0.44	
経常収支比率（%）	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.6
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	98.5
修正医業収支金額（千円）	1,739,721

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,883,474			
1 経常収益	1,883,474			
(1) 医業収益	1,745,373			
入院収益	546,707			
外来収益	1,134,570			
診療収入計	1,681,277			
その他医業収益	64,096			
(うち他会計負担金)	5,652			
(2) 医業外収益	138,101			
(うち国・都道府県補助金)	842			
(うち他会計補助・負担金)	80,225			
(うち長期前受金戻入)	25,940			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,867,387			
2 経常費用	1,866,187			
(1) 医業費用	1,766,506			
職員給与費	591,218	33.9	56.0	71.8
材料費	533,349	30.6	24.1	16.5
(うち薬品費)	429,207	24.6	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	90,003	5.2	11.1	5.6
減価償却費	73,727	4.2	9.2	12.2
経費	564,407	32.3	23.2	31.2
(うち委託料)	123,366	7.1	11.3	12.3
研究研修費	2,888			
資産減耗費	917			
(2) 医業外費用	99,681			
(うち支払利息)	22,805	1.3	1.6	1.9
(3) 特別損失	1,200			
損益				
経常損益	17,287			
純損益	16,087			
累積欠損金	35,012			
経常収支比率	100.9		98.2	97.1
医業収支比率	98.8		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	4.6		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	4.9		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	4.6		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	96.3		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	9,238,058
1 固定資産	7,362,987
(1) 有形固定資産	5,638,023
(2) 無形固定資産	70
(3) 投資その他の資産	1,724,894
2 流動資産	1,875,071
(1) 現金及び預金	1,146,488
(2) 未収金及び未収収益	666,930
(3) 貸倒引当金（ ）	9,929
(4) 貯蔵品	71,227
3 繰延資産	-
負債合計	5,014,333
1 固定負債	3,424,818
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,325,074
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	99,744
(7) リース債務	-
2 流動負債	566,501
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	201,144
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	125,761
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	238,596
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,023,014
(1) 長期前受金	1,871,799
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	848,785
資本合計	4,223,725
1 資本金	5,606,664
2 剰余金	-1,382,939
(1) 資本金剰余金	84,905
(2) 利益剰余金	-1,467,844
負債・資本合計	9,238,058
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	84,755	85,877
資本勘定繰入	25,759	27,779
計	110,514	113,656

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	37.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	岡山県
	市町村・組合名	瀬戸内市
	病院名	瀬戸内市立瀬戸内市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	7,803 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	110	82.8	87.4	74.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	110	82.8	87.4	74.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	17.0	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	36,975	
決算規模(千円)	18,090,386	
標準財政規模(千円)	10,656,170	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	86.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	33.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.0
修正医業収支金額(千円)	1,432,813

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,584,111			
1 経常収益	1,584,077			
(1) 医業収益	1,471,767			
入院収益	1,024,732			
外来収益	298,112			
診療収入計	1,322,844			
その他医業収益	148,923			
(うち他会計負担金)	38,954			
(2) 医業外収益	112,310			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	90,587			
(うち長期前受金戻入)	16,499			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	34			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,714,025			
2 経常費用	1,694,054			
(1) 医業費用	1,647,423			
職員給与費	963,522	65.5	56.0	61.8
材料費	119,828	8.1	24.1	17.7
(うち薬品費)	47,396	3.2	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	70,065	4.8	11.1	8.2
減価償却費	193,863	13.2	9.2	10.4
経費	367,837	25.0	23.2	29.9
(うち委託料)	205,051	13.9	11.3	12.9
研究研修費	2,218			
資産減耗費	155			
(2) 医業外費用	46,631			
(うち支払利息)	11,264	0.8	1.6	1.7
(3) 特別損失	19,971			
損益				
経常損益	-109,977			
純損益	-129,914			
累積欠損金	476,382			
経常収支比率	93.5		98.2	96.7
医業収支比率	89.3		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	8.8		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	8.2		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	85.9		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,208,056
1 固定資産	3,110,093
(1) 有形固定資産	2,861,471
(2) 無形固定資産	49,327
(3) 投資その他の資産	199,295
2 流動資産	1,097,963
(1) 現金及び預金	784,759
(2) 未収金及び未収収益	311,758
(3) 貸倒引当金()	2,334
(4) 貯蔵品	3,755
3 繰延資産	-
負債合計	2,988,740
1 固定負債	2,263,717
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,121,165
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	142,552
(7) リース債務	-
2 流動負債	255,138
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	104,953
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	63,024
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	80,793
(9) 前受金及び前受収益	38
3 繰延収益	469,885
(1) 長期前受金	570,476
(2) 長期前受金収益化累計額()	100,591
資本合計	1,219,316
1 資本金	1,695,698
2 剰余金	-476,382
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-476,382
負債・資本合計	4,208,056
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	127,875	129,541
資本勘定繰入	58,107	63,079
計	185,982	192,620

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	岡山県
				市町村・組合名	真庭市
				病院名	真庭市国民健康保険湯原温泉病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	9,830 m ²	指定病院の状況	救臨	へ	輪
診療科数	18	看護配置	10	:	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	50	71.8	76.1	76.4
療養	55	68.6	70.2	69.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	70.1	73.0	72.8
平均在院日数（一般病床のみ）		15.9	16.4	17.0

設立団体の状況		
人口（人）	46,124	
決算規模（千円）	29,601,751	
標準財政規模（千円）	19,715,176	
財政力指数	0.30	
経常収支比率（%）	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.8
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	80.6
修正医業収支金額（千円）	1,121,940

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,462,486			
1 経常収益	1,462,486			
(1) 医業収益	1,171,536			
入院収益	601,549			
外来収益	439,932			
診療収入計	1,041,481			
その他医業収益	130,055			
(うち他会計負担金)	49,596			
(2) 医業外収益	290,950			
(うち国・都道府県補助金)	32			
(うち他会計補助・負担金)	246,019			
(うち長期前受金戻入)	31,084			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,499,341			
2 経常費用	1,450,441			
(1) 医業費用	1,391,251			
職員給与費	867,371	74.0	56.0	61.8
材料費	241,167	20.6	24.1	17.7
(うち薬品費)	180,515	15.4	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	44,211	3.8	11.1	8.2
減価償却費	117,714	10.0	9.2	10.4
経費	161,719	13.8	23.2	29.9
(うち委託料)	60,533	5.2	11.3	12.9
研究研修費	2,624			
資産減耗費	656			
(2) 医業外費用	59,190			
(うち支払利息)	26,832	2.3	1.6	1.7
(3) 特別損失	48,900			
損益				
経常損益	12,045			
純損益	-36,855			
累積欠損金	432,043			
経常収支比率	100.8		98.2	96.7
医業収支比率	84.2		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	20.2		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	25.2		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	20.2		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	80.4		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	4,024,336
1 固定資産	2,647,982
(1) 有形固定資産	2,600,504
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	47,478
2 流動資産	1,376,354
(1) 現金及び預金	1,257,702
(2) 未収金及び未収収益	117,828
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	824
3 繰延資産	-
負債合計	2,065,853
1 固定負債	1,407,489
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,164,744
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	242,745
(7) リース債務	-
2 流動負債	184,299
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	95,444
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,511
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	32,344
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	474,065
(1) 長期前受金	474,065
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	1,958,483
1 資本金	2,052,461
2 剰余金	-93,978
(1) 資本剰余金	33,152
(2) 利益剰余金	-127,130
負債・資本合計	4,024,336
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	295,161	295,615
資本勘定繰入	64,680	65,928
計	359,841	361,543

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	36.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)	都道府県名	岡山県
	市町村・組合名	美作市
	病院名	美作市立大原病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,642 m ²	指定病院の状況	救 へ
診療科数	7	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	40	95.0	92.2	82.9
療養	40	97.6	94.6	76.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	96.3	93.4	79.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	17.0	18.2

設立団体の状況		
人口(人)	27,977	
決算規模(千円)	20,231,200	
標準財政規模(千円)	13,502,637	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	15.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.0
修正医業収支金額(千円)	838,729

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,085,511			
1 経常収益	1,085,511			
(1) 医業収益	875,023			
入院収益	567,248			
外来収益	205,811			
診療収入計	773,059			
その他医業収益	101,964			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	210,488			
(うち国・都道府県補助金)	4,583			
(うち他会計補助・負担金)	187,548			
(うち長期前受金戻入)	13,669			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	946,142			
2 経常費用	946,142			
(1) 医業費用	901,716			
職員給与費	559,380	63.9	56.0	71.8
材料費	101,027	11.5	24.1	16.5
(うち薬品費)	46,545	5.3	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,136	4.5	11.1	5.6
減価償却費	68,472	7.8	9.2	12.2
経費	172,388	19.7	23.2	31.2
(うち委託料)	32,584	3.7	11.3	12.3
研究研修費	291			
資産減耗費	158			
(2) 医業外費用	44,426			
(うち支払利息)	12,414	1.4	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	139,369			
純損益	139,369			
累積欠損金	-			
経常収支比率	114.7		98.2	97.1
医業収支比率	97.0		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	20.6		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	25.6		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	20.6		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	91.1		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,710,480
1 固定資産	1,815,986
(1) 有形固定資産	1,585,073
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	230,913
2 流動資産	1,894,494
(1) 現金及び預金	1,761,322
(2) 未収金及び未収収益	131,733
(3) 貸倒引当金()	2,500
(4) 貯蔵品	3,908
3 繰延資産	-
負債合計	1,085,736
1 固定負債	764,945
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	589,122
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	175,823
(7) リース債務	-
2 流動負債	101,576
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,355
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,300
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	68,921
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	219,215
(1) 長期前受金	492,030
(2) 長期前受金収益化累計額()	272,815
資本合計	2,624,744
1 資本金	1,339,204
2 剰余金	1,285,540
(1) 資本金剰余金	49,254
(2) 利益剰余金	1,236,286
負債・資本合計	3,710,480
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	223,983	223,842
資本勘定繰入	18,304	17,947
計	242,287	241,789

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	岡山県
	市町村・組合名	矢掛町
	病院名	国保病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	7,875 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	10	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	57	92.4	91.3	89.7
療養	60	85.8	76.0	71.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	117	89.0	83.4	80.3
平均在院日数(一般病床のみ)		20.8	17.6	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	14,201	
決算規模(千円)	9,534,488	
標準財政規模(千円)	4,818,414	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.9
修正医業収支金額(千円)	1,365,868

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,639,086			
1 経常収益	1,639,086			
(1) 医業収益	1,426,968			
入院収益	971,154			
外来収益	350,257			
診療収入計	1,321,411			
その他医業収益	105,557			
(うち他会計負担金)	61,100			
(2) 医業外収益	212,118			
(うち国・都道府県補助金)	8,159			
(うち他会計補助・負担金)	115,700			
(うち長期前受金戻入)	17,763			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,611,289			
2 経常費用	1,592,433			
(1) 医業費用	1,518,517			
職員給与費	991,987	69.5	56.0	61.8
材料費	154,711	10.8	24.1	17.7
(うち薬品費)	69,602	4.9	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	66,898	4.7	11.1	8.2
減価償却費	122,465	8.6	9.2	10.4
経費	246,729	17.3	23.2	29.9
(うち委託料)	100,245	7.0	11.3	12.9
研究研修費	2,202			
資産減耗費	423			
(2) 医業外費用	73,916			
(うち支払利息)	27,257	1.9	1.6	1.7
(3) 特別損失	18,856			
損益				
経常損益	46,653			
純損益	27,797			
累積欠損金	101,027			
経常収支比率	102.9		98.2	96.7
医業収支比率	94.0		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.8		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	12.4		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	10.8		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	91.8		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,934,020
1 固定資産	2,946,703
(1) 有形固定資産	1,648,785
(2) 無形固定資産	283
(3) 投資その他の資産	1,297,635
2 流動資産	987,317
(1) 現金及び預金	721,427
(2) 未収金及び未収収益	260,770
(3) 貸倒引当金()	602
(4) 貯蔵品	5,722
3 繰延資産	-
負債合計	2,269,655
1 固定負債	1,762,537
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,376,178
(2) その他の企業債	713
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	380,927
(7) リース債務	4,719
2 流動負債	278,367
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	154,802
(2) その他の企業債	178
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	52,723
(6) リース債務	2,087
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	58,669
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	228,751
(1) 長期前受金	466,828
(2) 長期前受金収益化累計額()	238,077
資本合計	1,664,365
1 資本金	1,615,192
2 剰余金	49,173
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	49,173
負債・資本合計	3,934,020
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	185,026	176,800
資本勘定繰入	70,402	69,000
計	255,428	245,800

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	岡山県
				市町村・組合名	鏡野町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,062 m ²	指定病院の状況	救 へ 輪		
診療科数	7	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	48	76.6	75.3	77.5
療養	40	76.1	76.7	69.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	76.4	76.0	73.8
平均在院日数（一般病床のみ）		17.9	17.3	18.6

設立団体の状況		
人口（人）	12,847	
決算規模（千円）	11,062,436	
標準財政規模（千円）	6,961,417	
財政力指数	0.32	
経常収支比率（%）	84.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.0
	将来負担比率（%）	74.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	93.4
修正医業収支金額（千円）	1,212,090

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,343,295			
1 経常収益	1,343,295			
(1) 医業収益	1,247,090			
入院収益	492,658			
外来収益	676,271			
診療収入計	1,168,929			
その他医業収益	78,161			
(うち他会計負担金)	35,000			
(2) 医業外収益	96,205			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	5,000			
(うち長期前受金戻入)	17,628			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,346,032			
2 経常費用	1,346,032			
(1) 医業費用	1,298,261			
職員給与費	715,354	57.4	56.0	71.8
材料費	375,464	30.1	24.1	16.5
(うち薬品費)	310,731	24.9	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	51,863	4.2	11.1	5.6
減価償却費	70,573	5.7	9.2	12.2
経費	127,029	10.2	23.2	31.2
(うち委託料)	77,508	6.2	11.3	12.3
研究研修費	2,853			
資産減耗費	6,988			
(2) 医業外費用	47,771			
(うち支払利息)	4,020	0.3	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-2,737			
純損益	-2,737			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.8		98.2	97.1
医業収支比率	96.1		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	3.0		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	3.2		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	3.0		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	96.8		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	2,689,728
1 固定資産	853,500
(1) 有形固定資産	851,929
(2) 無形固定資産	1,571
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,836,228
(1) 現金及び預金	1,614,562
(2) 未収金及び未収収益	221,905
(3) 貸倒引当金（ ）	2,800
(4) 貯蔵品	2,561
3 繰延資産	-
負債合計	542,425
1 固定負債	177,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	155,830
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	19,180
(7) リース債務	2,850
2 流動負債	122,472
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,483
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	48,953
(6) リース債務	1,148
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	62,888
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	242,093
(1) 長期前受金	729,843
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	487,750
資本合計	2,147,303
1 資本金	1,239,967
2 剰余金	907,336
(1) 資本剰余金	4,301
(2) 利益剰余金	903,035
負債・資本合計	2,689,728
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	38,834	40,000
資本勘定繰入	41,842	60,000
計	80,676	100,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	岡山県
				市町村・組合名	岡山市久米南町国民健康保険病院組合
				病院名	国保福渡病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,810 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	13	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	52	35.0	28.8	29.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	35.0	28.8	29.9
平均在院日数（一般病床のみ）		16.4	14.0	15.7

設立団体の状況	
人口（人）	-
決算規模（千円）	-
標準財政規模（千円）	-
財政力指数	-
経常収支比率（%）	-
健全化判断比率	実質赤字比率（%）
	連結実質赤字比率（%）
	実質公債費比率（%）
	将来負担比率（%）

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	81.0
修正医業収支金額（千円）	758,242

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	947,322			
1 経常収益	947,322			
(1) 医業収益	866,725			
入院収益	190,973			
外来収益	553,941			
診療収入計	744,914			
その他医業収益	121,811			
(うち他会計負担金)	108,483			
(2) 医業外収益	80,597			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	64,083			
(うち長期前受金戻入)	609			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	977,182			
2 経常費用	977,160			
(1) 医業費用	935,964			
職員給与費	394,493	45.5	56.0	71.8
材料費	268,907	31.0	24.1	16.5
(うち薬品費)	223,104	25.7	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	37,378	4.3	11.1	5.6
減価償却費	55,778	6.4	9.2	12.2
経費	213,176	24.6	23.2	31.2
(うち委託料)	47,830	5.5	11.3	12.3
研究研修費	969			
資産減耗費	2,641			
(2) 医業外費用	41,196			
(うち支払利息)	6,166	0.7	1.6	1.9
(3) 特別損失	22			
損益				
経常損益	-29,838			
純損益	-29,860			
累積欠損金	112,300			
経常収支比率	96.9		98.2	97.1
医業収支比率	92.6		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	18.2		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	19.9		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	18.2		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	79.3		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,766,176
1 固定資産	770,834
(1) 有形固定資産	698,417
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	72,417
2 流動資産	995,342
(1) 現金及び預金	857,775
(2) 未収金及び未収収益	125,237
(3) 貸倒引当金（ ）	1,551
(4) 貯蔵品	13,812
3 繰延資産	-
負債合計	428,249
1 固定負債	284,310
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	284,310
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	137,132
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	51,704
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,114
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	53,711
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,807
(1) 長期前受金	24,051
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	17,244
資本合計	1,337,927
1 資本金	1,253,683
2 剰余金	84,244
(1) 資本金剰余金	5,063
(2) 利益剰余金	79,181
負債・資本合計	1,766,176
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	171,051	172,566
資本勘定繰入	37,523	48,313
計	208,574	220,879

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	13.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。